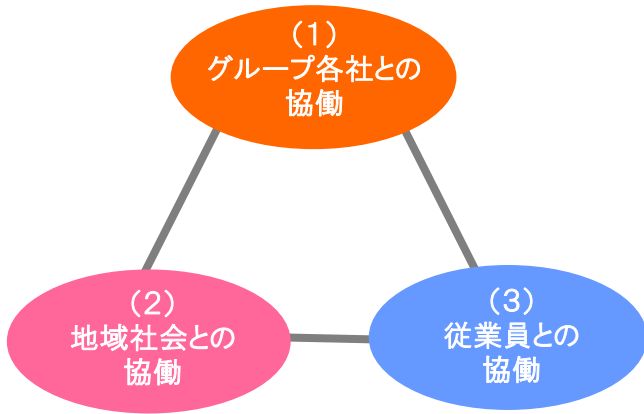




「未来にわたり住みたいまち」をつくりたい！
 そんな想いに共感する、
 まちに関わるさまざまな人々と協働しながら、
 阪急阪神ホールディングスグループを挙げて
 社会貢献活動を推進しています。



<重点領域>

環境づくり

地域コミュニティが、安全・安心かつ文化的で、環境に配慮しながら発展する、持続可能なまちづくりに取り組みます。

人づくり

未来の地域社会を担う人材であるこども達が、夢を持って健やかに成長する機会を創出します。

1

グループ各社の社会貢献活動の「認定・促進制度」
 例) ◆ゆめ・まちチャレンジ隊
 ◆ゆめ・まち親子チャリティコンサート
 このほか、年間約100件の活動を行っています。

2

①市民団体を資金面から支援する
 「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」
 ②市民団体の活動の発展を支援する
 「阪急阪神 ゆめ・まちソーシャルラボ」

3

①従業員の自主的な社会貢献活動を促す
 「社会貢献ポイント制度」
 ②従業員のボランティア活動団体を支援金面から支援する「ゆめ・まちええこと応援団」

持続可能な開発目標(SDGs)

SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟国が2030年までに17分野で社会課題の解決を達成することを目標に掲げています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」におけるSDGsに関連する取組例

◆ バイオディーゼル燃料を100%使用したバスの運行

(阪急バス、阪急阪神ハウジングサポート、阪急阪神エムテック、阪急阪神不動産)

食堂、惣菜店舗等のグループ施設のほか、阪急阪神不動産の分譲マンションの入居者や大阪府池田市内から回収した廃食用油を、二酸化炭素を増やさない循環型の燃料であるバイオディーゼル燃料として再利用しているバスを運行。バスの車体も環境をテーマとしたデザインにすることで、沿線のお客様に環境について考えていただくきっかけとしています。



◆ 1000000人のキャンドルナイト@OSAKA CITY

(阪神電気鉄道、阪急電鉄)

地域企業と協力して、西梅田・茶屋町でそれぞれ開催。ビルの照明やネオンを消灯し、まちにキャンドルの明かりを灯すイベントを通じて、環境や普段の暮らしを見つめなおすきっかけとなることを目指しています。



◆ 阪急阪神 ゆめ・まちチャレンジ隊

(阪急阪神ホールディングスグループ各社)

都市交通・ホテル・エンタテインメント等、グループのさまざまな仕事や施設でのチャレンジを体験できる、小学生向けの学習プログラムを毎年夏休みに開催。まちの将来を担う子ども達の健やかな成長を応援します。



◆ 病児支援団体への寄付つき宿泊プランの販売

(阪急阪神ホテルズ)

阪急阪神ホテルズ直営の全ホテルにおいて、寄付つき宿泊プランを販売。利用者1名ごとに1,000円を、闘病・長期入院中の子ども達を支援する市民団体に寄付しています。お客様と共に、病気の子ども達に笑顔を届けます。



◆ 「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」や「阪急阪神 ゆめ・まちソーシャルラボ」による市民団体との協働

(阪急阪神ホールディングス、「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」の助成先市民団体)

グループ従業員の募金を基に、会社が同額を上乗せして、阪急阪神沿線の市民団体を助成しています。「阪急阪神 ゆめ・まちソーシャルラボ」では、阪急西宮ガーデンズ内の「スタジモにしのみや」や駅を中心に、お客様参加型のワークショップや展示等のイベントを開催。地域のみなさまと共に、よりよいまちづくりへの機運を高めています。



当社グループでのSDGsに関連する取組例

◆ 各鉄道会社による省エネ車両の運行

(阪急電鉄、阪神電気鉄道、北大阪急行電鉄、能勢電鉄、北神急行電鉄)

ブレーキ時にモーターの回転力を活かして、発電機として使用(回生ブレーキという)することで30%~50%の電力を架線に返し、他の加速中の列車の動力として使用する省エネルギータイプの車両を準備しています。



◆ カーボン・ニュートラル・ステーション摂津市駅

(阪急電鉄、阪急阪神ビルマネジメント、阪神園芸)

2010年3月14日に、日本初のCO2排出量ゼロの駅「摂津市駅」を開業しました。同駅では、太陽光パネルやLED照明など各種環境施策を実施することで、通常の駅の半分程度にCO2排出量を削減し、残りのCO2については、森林の間伐や植林などによるカーボン・オフセットにより、実質的にゼロにしています。



◆ 阪急西宮ガーデンズにおける環境施策

(阪急電鉄)

スカイガーデンなどの屋上緑化や壁面緑化を積極的に採用し、ヒートアイランド現象の軽減に努めています。また、太陽光発電パネルや風力発電機の設置、雨水の散水への利用など、自然エネルギーの活用も図っています。このほか、高効率ターボ冷凍機・氷蓄熱システム・ガスコーゼエネレーションシステムの採用、LED照明の採用や自然光を取り入れる設計等により省エネルギー化を図っています。



◆ 阪神甲子園球場の太陽光発電

(阪神電気鉄道)

阪神甲子園球場では、「銀傘」上に太陽光発電設備を設置し、2010年3月から稼働しています。推定年間発電電力量は約193,000kWhで、これは阪神タイガースが甲子園球場で行うナイトゲーム(年間)で使用するナイター照明の電力量に相当し、火力発電に比べて、CO2排出量を年間で約150トン削減することが可能です。



◆ 環境マネジメントシステム ISO14001取得

(阪急電鉄、阪急阪神エクスプレス、アイテック阪急阪神)

ISO14001は、環境マネジメントシステムの国際規格です。当社グループでは、阪急電鉄(正雀工場)、阪急阪神エクスプレス、アイテック阪急阪神で、認証を取得しています。

